

# 取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



## DIGITAL

# 75形CSアンテナ

## CSA-756

給電部別売

## CSA-757

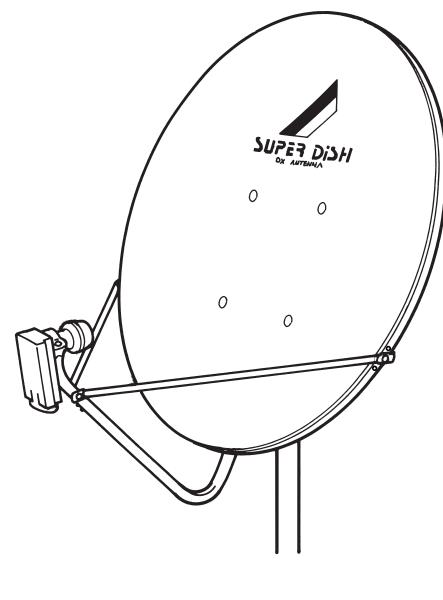
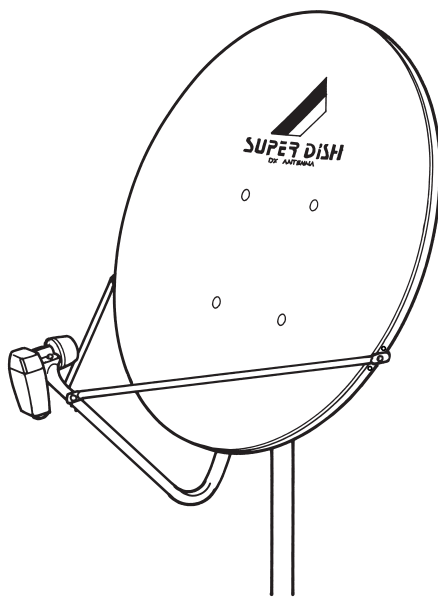
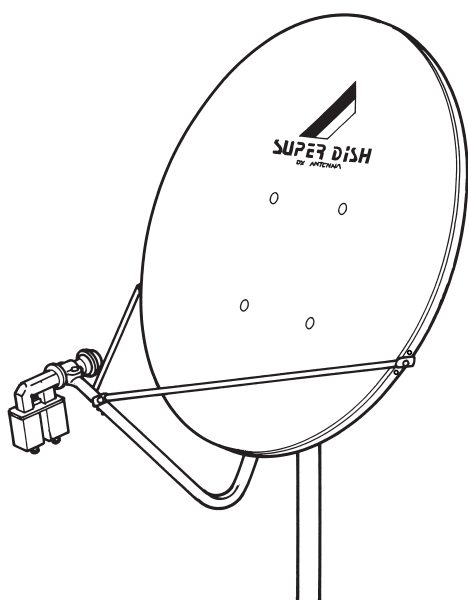
偏波面電圧切換給電部付

(局部発振周波数 11.2GHz)

## CSA-758

2出力偏波面電圧切換給電部付

(局部発振周波数 11.2GHz)



注) イラストのマストは別売品です。  
CSA-756の給電部は別売品です。

保証書は取扱説明書の最後のページに記載しています。

### 製品の特長

- 給電部に極めて低雑音のデジタル放送対応CSコンバータを採用し、鮮明な画像を再現します。
- 偏波面電圧切換方式のCSコンバータを採用していますので、垂直・水平偏波の受信が選択でき、簡単に画像をお楽しみいただけます。(CSA-757,758)
- CSコンバータの出力端子を2つ設け、垂直偏波・水平偏波をそれぞれ独立して受信できます。(CSA-758)
- 給電部やそのアームがいったい電波の陰をつくらない受信効率に優れたオフセット形を採用しました。
- 細部にわたる合理化でコンバータアームの取り付けが簡単です。
- アンテナの方向調整がスムーズに行える独自の新機構を採用しています。
- パラボラ反射鏡は高効率アルミ材を使用し、耐候性にも優れ、軽量でリサイクルも可能です。

## 安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



⊘記号の場合は禁止の行為であることを告げるものです。  
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



## 警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- アンテナの表面に弊社指定以外のシール類を貼ったり、塗装したりしないでください。太陽光の反射熱で熱せられてアンテナコンバータが焼けたり、変形したりして、故障の原因となることがあります。（製品に使用しているシールおよび塗料は安全性と耐候性に問題がないことを検証して製品化しています。）



- アンテナコンバータに接続する同軸ケーブルには電流が流れますので、同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものをのせたり、加熱しないでください。火災や感電の原因となります。



- アンテナコンバータのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。感電やけがの原因となります。  
内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。



- アンテナや取付装置などに登ったり、乗ったりしないでください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。落ちたり、倒れたり、破損したりして、けがの原因となります。



- 雷が鳴り出したら、アンテナや同軸ケーブルには触れないでください。  
感電の原因となります。



- 万一、このアンテナを落としたり、アンテナコンバータを破損した場合は、接続しているチューナの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電やけがの原因となります。



## 注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。



- アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。





## 警告



この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 送配電線、ネオンサイン、電車の架線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。また、電話線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、断線の原因となります。
- 不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、すべったりして、けがの原因となります。
- アンテナの部品や工具類を高いところから落とさないでください。けがの原因となります。
- 風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- 不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 人や車両の通行の妨げになる場所には設置しないでください。人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。
- 強度の弱い場所や地盤の弱い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- アンテナを煙突の付近や高温になる場所に設置しないでください。火災や感電の原因となります。
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- アンテナコンバータに接続する同軸ケーブルに電流が流れますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。火災や感電の原因となります。
- アンテナコンバータは表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- アンテナや取付装置のお手入れや点検は、風雨、雷、雪など天候の悪い日は、危険ですので作業を行わないでください。落ちたりして、けがの原因となります。



## 注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

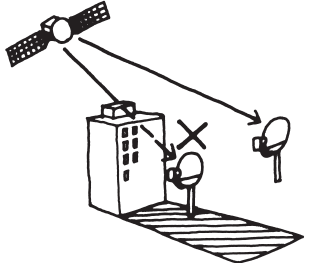
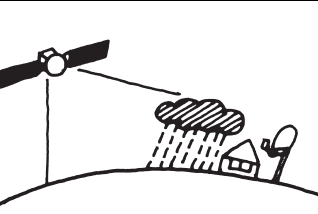
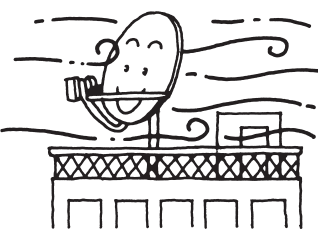
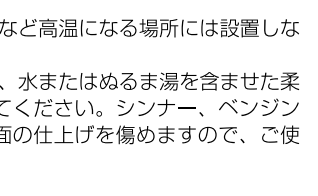
- CSアンテナは、強風の影響を受けやすいので、アンテナの取り付けには、マスト、ポールおよび取付金具類はアンテナ径により指定された十分強度のあるものを使用し、堅固に設置してください。
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

## お取扱いの前に


- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- CSチューナは、CSデジタル放送対応のCSチューナを使用してください。
- CSアンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- CSコンバータは、絶対に分解したりお客様自身での修理や改造をしないでください。分解や改造などによる防水性や性能維持の保証はできません。
- 組み立てや調整のため以外のネジやボルトは絶対に回さないでください。
- ベランダや壁面などに取り付ける場合、それらの強度に注意し、落下しないよう安全性と安定性を十分に考慮してください。
- 地上や屋上などに設置する場合、人の通行の妨げにならない場所を選び、転倒しないよう強固に設置してください。
- CSコンバータへの接続は、必ず衛星放送対応のケーブルをご使用ください。
- CSコンバータ用電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後に行ってください。

## CSアンテナ設置のポイント

衛星放送をより良く受信していただくために、次の事項にご注意ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 衛星から送られてくる電波の弱い地域では、受信不調や受信不能になる場合があります。必ずアンテナは地域に適したものをご使用ください。</li> <li>● 受信する衛星により、電波の強さが異なりますので、受信する衛星に適したものをご使用ください。詳しくは、販売店またはもよりの当社各支店・営業所にお問い合わせください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受信方向にビルや鉄塔、樹木などの障害物がある場合は、電波の受信に大きく影響します。電波障害の起こらない所か、樹木では成長や繁茂することを考慮に入れて、陰にならない所を選んで設置してください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 衛星からの電波は微弱です。そのため豪雨、厚い雲、雪によって、一時的に画面や音声が途切れたり、ひどい場合には全く受信できないことがあります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● CSアンテナを取り付けるマストは、とくに屋上など高い場所に設置する時に、台風などの風に長期間耐えうるようにし、しっかりと固定してください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● CSアンテナを、煙突の近くなど高温になる場所には設置しないでください。</li> <li>● CSアンテナの表面の汚れは、水またはぬるま湯を含ませた柔らかい布で、軽く拭きとってください。シンナー、ベンジンをはじめ薬品や洗剤は、表面の仕上げを傷めますので、ご使用にならないでください。</li> </ul>	

締付トルクとは、ネジを締める力の数値です。たとえば、スパナを用いてネジから10cmのところまで40N（約4kgf）の力を加えたとき40N（約4kgf）×10cm=400N・cm（約40kgf・cm）となります。



ネジ

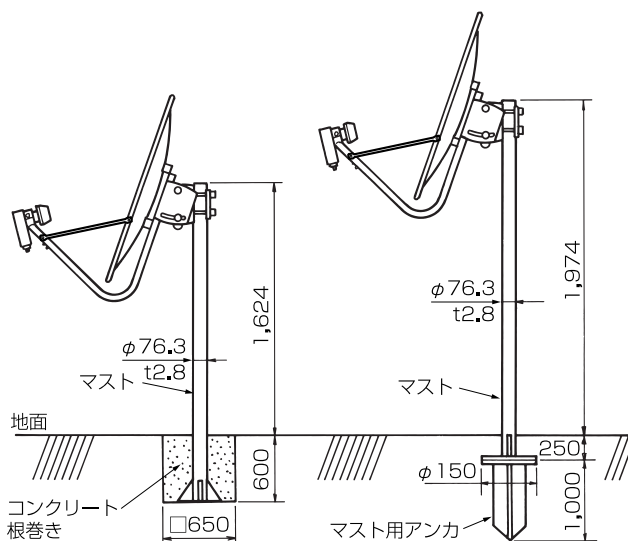
40N（約4kgf）

## CSアンテナの設置例

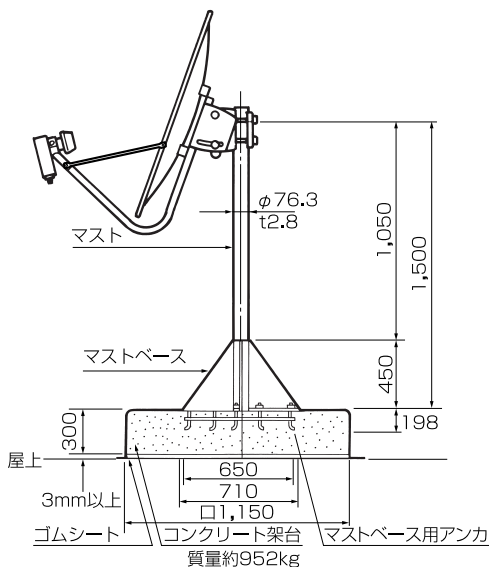
図の中にあるCSアンテナ以外の機器・パーツについては、DXアンテナ製の別売品をご使用ください。

- CSアンテナを取り付けるマスト（アンテナマスト）は、台風や季節風などの強風に留意して、安定性と安全性に十分注意して強固に設置してください。

### 〈地上用マストを用いた設置例〉



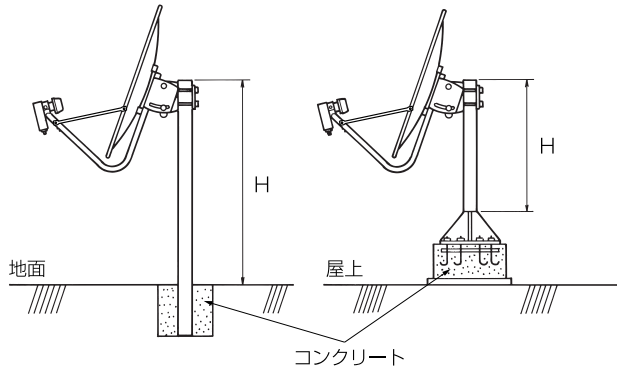
### 〈屋上用マストを用いた設置例〉



(単位：mm)

## CSアンテナの設置例のつづき

〈設置できる高さのめやす〉



使用マスト(mm)	H: マスト高さ(mm)
φ76.3×t5.2	3000
φ60.5×t3.9	2000
φ48.6×t3.2	1300

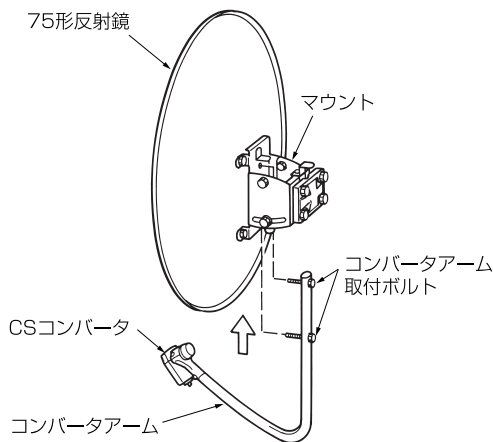
※H: マスト高さは左図のように、地上設置の場合は地面から、屋上設置の場合は、マストベース上端から、アンテナ取付部までの高さです。上の表はマストの強度計算から求めた高さの上限です。表の高さ以下でご使用ください。

- マストは地面に対して垂直に建ててください。
- アンテナの取り付けは、マストのコンクリート基礎が十分固まった後に行なってください。
- 地上形マスト用アンカを使用しないで、マストを地中に埋める場合は、基礎部にコンクリート根巻などの補強を施してください。
- 屋上設置では地上より風圧荷重がさらに増大しますので、設置場所には十分な強風に対する配慮をしてください。
- 既設の建物の場合は、屋上にゴムシートなどを介してコンクリート基礎を設置してください。
- 新築の建物の場合、マストベース用アンカを鉄筋などに溶接しますと、さらに、強固な設置ができます。

## コンバータアームの取付け

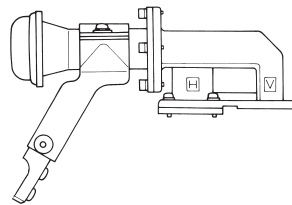
反射鏡裏面のマウントのベース部に、スパナなどを用いて、コンバータアームをコンバータアーム取付けボルトでしっかりと取り付けて固定してください。

イラストはCSA-757で代表しています。

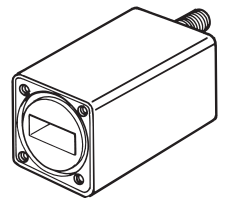


※CSA-756にはCS給電部、CSコンバータは付属しておりません。CSA-756にはCS両偏波給電部CSP-1と、システムに合ったDXアンテナ製のCSコンバータをご使用ください。なお、CSコンバータの仕様については、お買い上げの販売店もしくはDXアンテナ製品取扱店にご相談ください。

〈CS両偏波給電部・CSP-1〉



〈CSコンバータ・一例〉

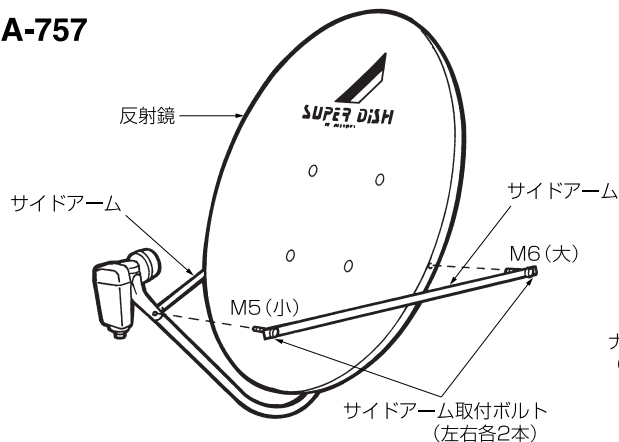


## サイドアームの取付け

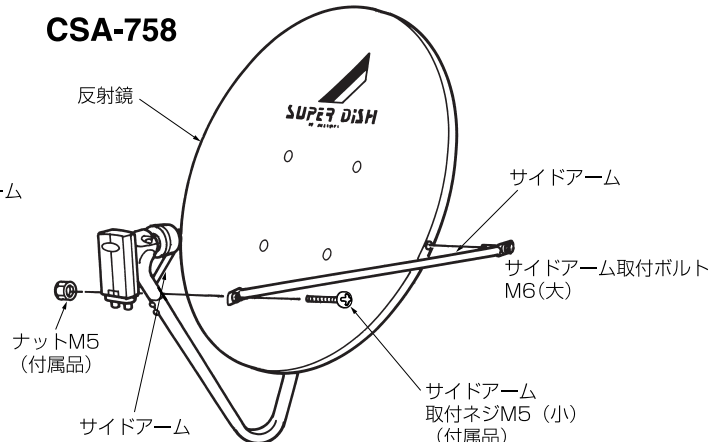
コンバータアームを取り付けた後、サイドアームを取り付けます。このとき、サイドアームのコンバータアーム側を取付ネジ(M5) (CSA-758はナットと) で仮止めし、サイドアームの反射鏡側の取付ボルト(M6)を左右交互に締め付け、最後にコンバータアーム側の取付ネジ(M5)を締めてください。(コンバータアーム側を先に締め込むと、組立てにくくなります。)

CSA-756はCSA-757と同様に取付けてください。

CSA-757



CSA-758



締付トルク	M5	2~3N・m (約20~30kgf・cm)	M6	4~5N・m (約40~50kgf・cm)
-------	----	-----------------------	----	-----------------------

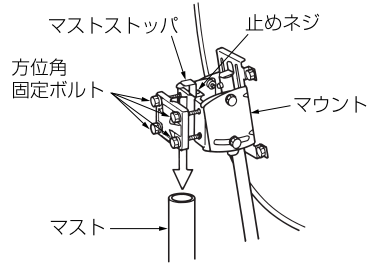
## マストへの取付け

※マストは垂直に設置されていることを確認してください。

- アンテナは直径48.6mm～90mmのマストに取り付けることができます。

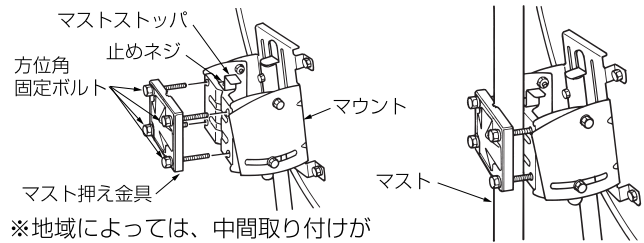
### ＜マストの上端に取り付ける場合＞

- ①マスト押え金具とマウントの間に、マストが入るように方位角固定ボルトを緩めてください。
- ②マストをマストストップに当たるまで差し込み、方位角固定ボルトを仮止めします。（最終的な固定はアンテナを最良の受信方向に調整した後行います。）



### ＜マストの中間に取り付ける場合＞

- ①マストストップの止めネジを緩めます。
- ②マストストップをマストが当たらない位置まで回転させ、止めネジを締め付け固定します。



※地域によっては、中間取り付けができませんので、ご注意ください。

- ③方位角固定ボルトを緩めマスト押え金具をはずします。
- ④マストをマウントとマスト押え金具ではさみ、方位角固定ボルトで仮止めします。（最終的な固定はアンテナを最良の受信方向に調整した後行います。）

仰角が23～51度までの地域でマストの中間に取り付ける事ができます。

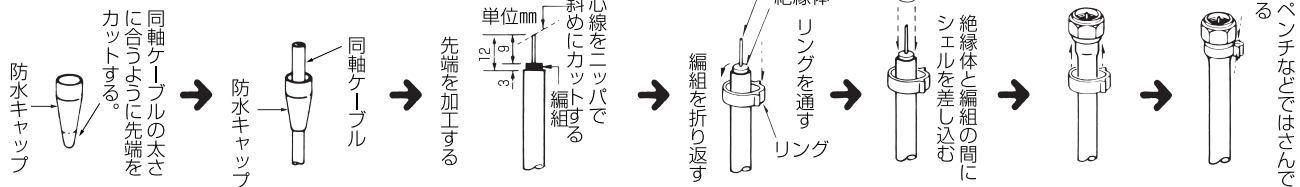
## 接栓への同軸ケーブルのつなぎかた

### ＜CSA-756＞

接栓は付属しておりません。別売りの防水形F形接栓を使用してください。

### ＜CSA-757, CSA-758＞

図のように付属のF形接栓（F-5）に同軸ケーブルをつないでください。このとき、あらかじめ同軸ケーブルに防水キャップを通しておいてください。F形接栓は5C-FVS、S-5C-FBなどの同軸ケーブルに使用できますが、ほかの同軸ケーブルを使用する場合はその同軸ケーブルに合ったF形接栓（別売）を、この図を参考に取付けてください。

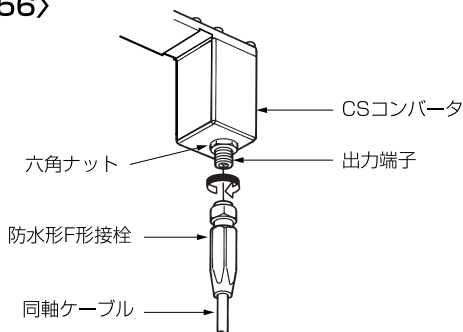


- 同軸ケーブルは、CSコンバータから取り出される1GHz帯の電波を効率よく伝送するため、高品質の5C-FVS、S-5C-FBなどのご使用をおすすめします。

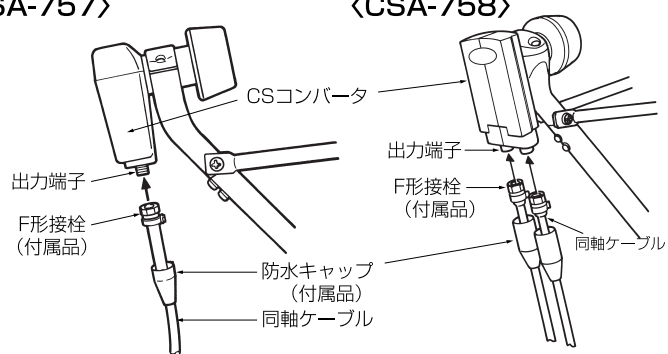
## 出力端子への接栓の接続と防水処理

①図のようにCSコンバータの出力端子に接栓を接続し、スパナなどでしっかりと締め付けてください。このとき、必要以上に締め付けると出力端子を破損する恐れがありますので2N・mを越えるトルクで締めないでください。

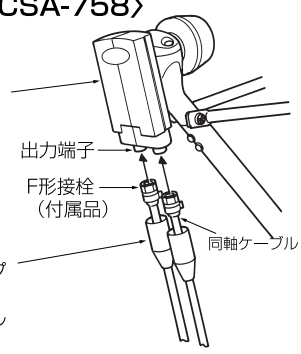
### ＜CSA-756＞



### ＜CSA-757＞



### ＜CSA-758＞



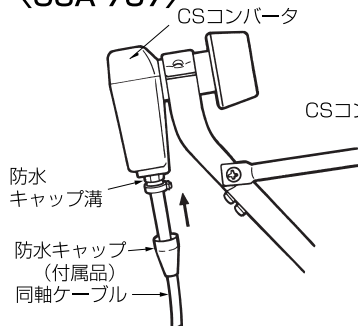
### ＜ご注意＞

出力端子の六角ナットは絶対に緩めないでください。緩めると雨水が入り故障の原因になります。

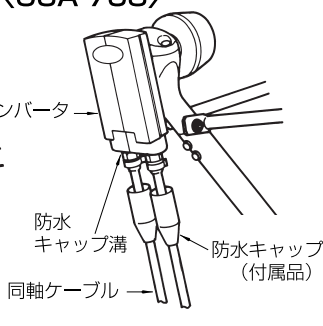
②CSA-757とCSA-758は同軸ケーブルを通しておいた防水キャップをすらしてCSコンバータの防水キャップ溝に防水キャップを差し込んでください。CSA-756は自己融着テープとビニルテープで防水処理をしてください。

締めトルク 1～2N・m

### ＜CSA-757＞



### ＜CSA-758＞

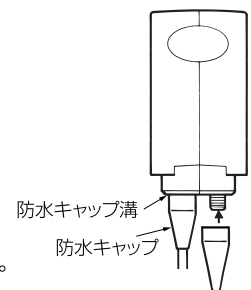


### （ご注意）

防水キャップは、CSコンバータの防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んでください。

### （CSA-758）

片方のみ使用する場合でも、使用しない出力端子には防水キャップを防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んでください。内部に雨水などが入ると故障の原因となります。



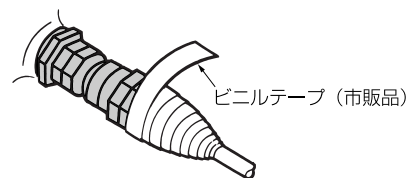
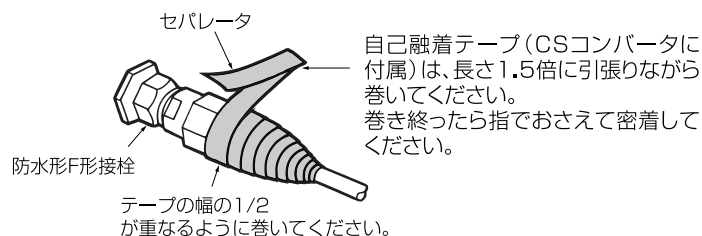


## 出力端子への接栓と接続と防水処理のつづき

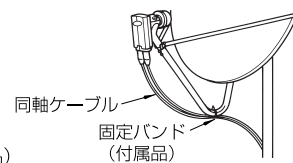
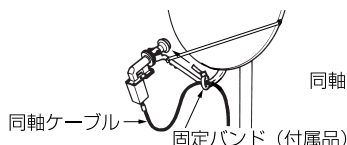
### 〈CSA-756〉

出力端子に接続した接栓は、図のように確実に防水処理を施してください。

- 自己融着テープを巻きつけます。
- さらにその上にビニルテープを巻きつけます。



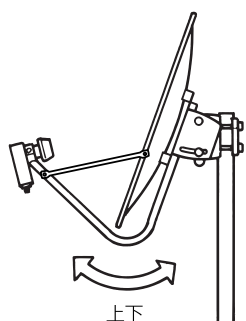
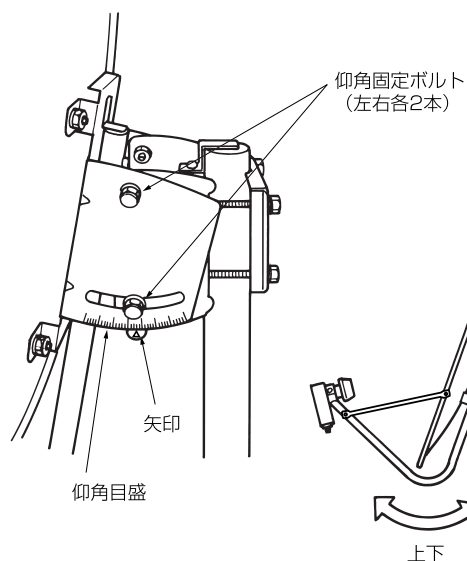
- ③防水キャップが曲がったり、変形してはずれないように同軸ケーブルにはゆとりを持たせて付属の固定バンドでコンバータアームに固定してください。



## CSアンテナの仰角・方位角・偏波角の設定

### 〈仰角の設定〉

- ①別表(8~9ページ)の「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」から、アンテナ設置場所のおよその仰角を求めてください。
- ②マウントの仰角固定ボルトを緩め、仰角表示に矢印が合うように調整し仮止めしてください。

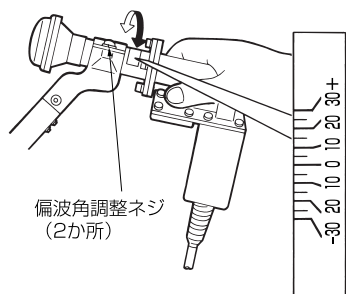


※最終的に、正確な仰角の調整は衛星からの電波を受信して行います。

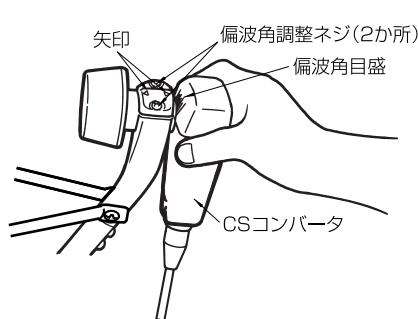
### 〈偏波角の設定〉

- ①CSコンバータの偏波角調整ネジ(2か所)を左右均等に緩めます。
- ②別表(8~9ページ)の「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」より、偏波角を求め、偏波角目盛にコンバータの中心線を合わせます。このときシールのラインが見えるようにコンバータ押え金具の位置を合わせてください。
- ③偏波角調整ネジを仮止めします。

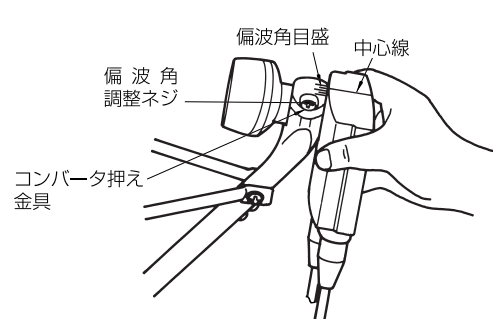
### 〈CSA-756〉



### 〈CSA-757〉



### 〈CSA-758〉



※最終的に、正確な偏波角の調整は衛星から電波を受信して行います。

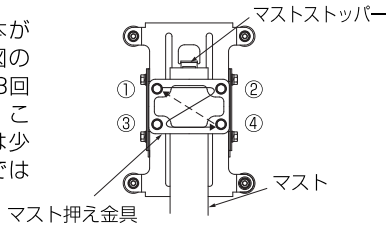
## 仰角、方位角、偏波角の正確な調整

CSアンテナの方向調整は衛星からの電波を受信して行います。CSアンテナの正確な方向調整はCS・BSレベルチェッカおよびスペクトラムアナライザなどを用いる方法について説明します。

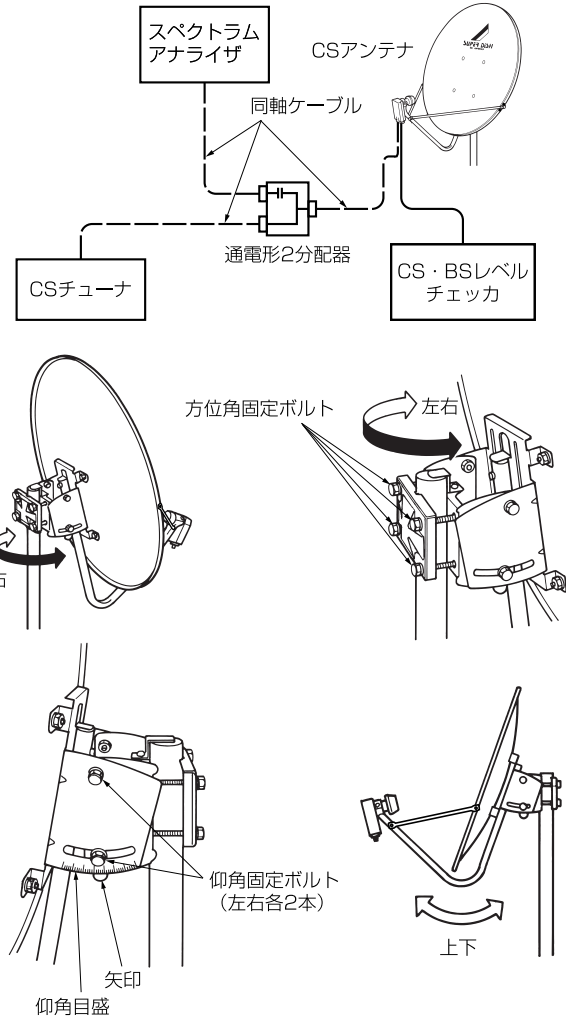
- ①CSアンテナをCS・BSレベルチェッカに接続するか、または通電形2分配器などを用いて、スペクトラムアナライザ、CSチューナなどに接続してください。
  - ②CSコンバータ電源（DC15V）は通電形2分配器などを介して同軸ケーブルに重畳してCS・BSレベルチェッカなどからCSコンバータへ供給します。
  - ③CSアンテナの方位角固定ボルトを緩めます。
  - ④アンテナの方向を左右にゆっくりと振ってCS・BSレベルチェッカの入力レベルが最大となる方向に調整し、アンテナが左右にずれないように方位角固定ボルトを仮止めます。
  - ⑤仰角固定ボルトを緩めてアンテナの方向を上下にゆっくり振って、CS・BSレベルチェッカの入力レベルが最大となる方向に調整し、アンテナの方向が上下にずれないように仰角固定ボルトを仮止めます。④、⑤の操作を繰り返して行ってください。
- ※この時、サイドローブと間違えないために、最大入力レベルを乗り越えて次のレベルピークとなるところまで仰角および方位角を調整して、図の特性になっていることを確認してください。その後、最大入力レベル時（メインローブ）の仰角および方位角にアンテナの方向を戻してください。
- ⑥最良の受信状態となった位置で、マスト押え金具の方位角固定ボルトを方向がズレないように〈ご注意〉を参考に左右交互に締めしっかりと固定します。

### 〈ご注意〉

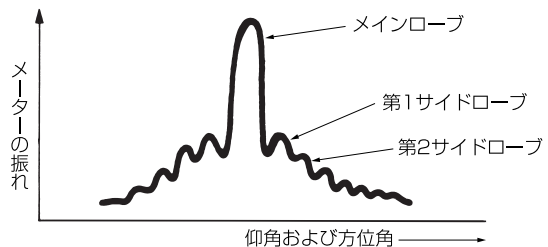
方位角固定ボルトは4本が均等に締まるように右図の①から④まで順番に2、3回転ずつ締めてください。この時、マスト押え金具は少し変形しますが、異常ではございません。



- ⑦次にCS・BSレベルチェッカの入力レベルを確認しながら仰角の調整を行い、最良の状態では4本の仰角固定ボルトを締め、しっかりと固定してください。
- ⑧最後に偏波角調整ネジを少し緩めて偏波角の微調整を行います。交差偏波のCSコンバータ（垂直偏波のCSコンバータで受信した場合は、水平偏波のCSコンバータ）のレベルが最小となるようフィードホーンをゆっくり左右に回転させて調整します。
- ⑨偏波角調整ネジを左右均等に締め付けてしっかりと固定します。



（仰角および方位角/メーターの振れ）特性



締付トルク	仰角固定ボルト	12~14N・m
	方位角固定ボルト	12~14N・m
	偏波角調整ネジ	1~1.5N・m

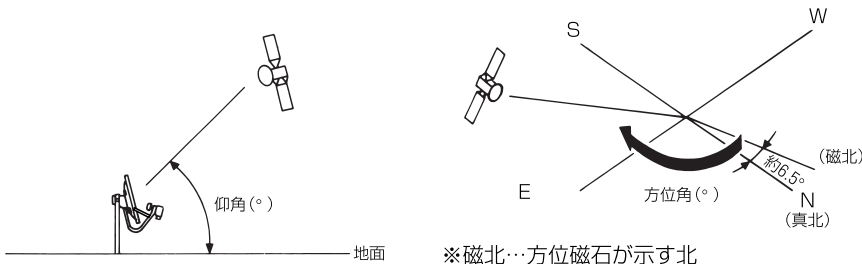
## 主な設置地区の仰角と方位角と偏波角

仰角、方位角、偏波角は地域により異なります。同じ場所でも地域により多少異なりますので、この仰角、方位角の表は調整の目安としてご参照ください。

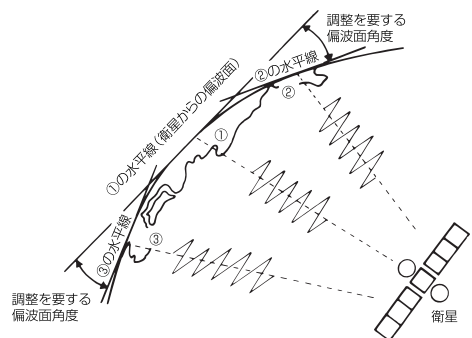
●仰角…受信点から衛星を見上げた角度

●方位角…真北から東回りに測った衛星の角度

●偏波角…受信点から衛星を見た偏波面の傾き



※磁北…方位磁石が示す北





## 主な設置地区の仰角と方位角と偏波角

仰角、方位角、偏波角は地域により異なります。同じ場所でも地域により多少異なりますので、この仰角、方位角の表は調整の目安としてご参照ください。

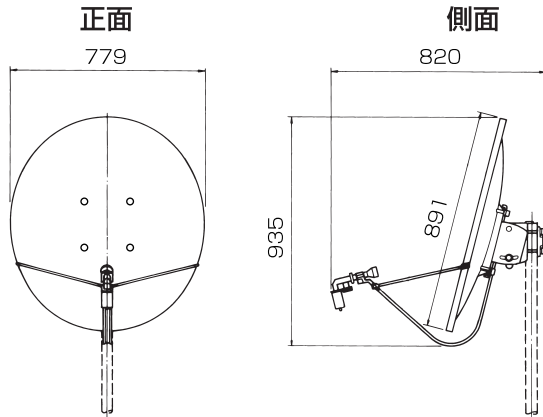
都 市	JCSAT-4号 東経124°			JCSAT-3号 東経128°			スーパーバードC号 東経144°			JCSAT-5号 東経150°		
	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)
稚内	34.8	204.1	16.7	36.0	198.9	13.1	37.7	176.7	9.7	37.1	168.4	-8.1
旭川	36.3	205.6	18.2	37.5	200.3	14.5	39.5	177.6	10.3	39.0	169.0	-7.9
釧路	36.3	208.6	20.5	37.7	203.3	16.9	40.4	180.6	12.4	40.1	171.8	-6.0
札幌	37.3	204.6	17.7	38.5	199.1	13.9	40.3	176.1	9.2	39.6	167.4	-9.2
函館	38.8	204.3	17.9	40.0	198.7	13.9	41.6	175.1	8.4	40.8	166.3	-10.2
青森	39.8	204.8	18.5	41.0	199.1	14.4	42.7	175.1	8.3	41.9	166.1	-10.5
盛岡	40.7	205.8	19.6	42.1	200.1	15.4	44.0	175.6	8.6	43.2	166.3	-10.5
秋田	41.1	204.3	18.5	42.4	198.6	14.2	43.9	173.9	7.3	42.9	164.7	-11.7
山形	43.3	205.8	20.2	44.7	199.9	15.7	46.5	174.0	7.3	45.5	164.4	-12.3
仙台	42.3	206.1	20.2	43.7	200.3	15.8	45.5	175.0	8.1	44.7	165.5	-11.3
山形	42.5	205.4	19.7	43.8	199.5	15.2	45.5	174.1	7.4	44.5	164.6	-12.0
福島	43.0	205.8	20.1	44.3	199.9	15.6	46.1	174.3	7.5	45.1	164.7	-12.1
新潟	43.3	203.6	18.4	44.6	197.6	13.8	45.8	172.0	5.7	44.6	162.5	-13.7
水戸	44.3	206.5	21.1	45.8	200.5	16.3	47.6	174.1	7.2	46.6	164.2	-12.7
宇都宮	44.4	205.5	20.3	45.8	199.5	15.5	47.4	173.1	6.5	46.3	163.3	-13.3
千葉	45.3	206.0	20.9	46.7	199.8	16.0	48.3	172.9	6.3	47.2	163.0	-13.8
浦和	45.2	205.5	20.4	46.6	199.4	15.6	48.1	172.6	6.0	46.9	162.6	-14.0
大宮	45.1	205.5	20.4	46.5	199.3	15.6	48.1	172.6	6.0	46.9	162.7	-14.0
土浦	44.8	206.3	21.0	46.2	200.2	16.2	48.0	173.6	6.8	46.9	163.7	-13.2
前橋	44.9	204.4	19.4	46.2	198.3	14.6	47.4	171.7	5.4	46.2	162.0	-14.4
甲府	45.8	204.0	19.3	47.1	197.8	14.3	48.2	170.7	4.5	46.8	160.9	-15.4
東京	45.4	205.7	20.7	46.8	199.6	15.8	48.3	172.6	6.0	47.2	162.7	-14.0
横浜	45.6	205.8	20.8	47.0	199.6	15.9	48.6	172.5	5.9	47.4	162.5	-14.2
厚木	45.7	205.4	20.4	47.1	199.1	15.5	48.6	172.1	5.5	47.3	162.1	-14.5
長野	44.9	203.0	18.2	46.1	196.8	13.4	47.0	170.4	4.3	45.7	160.7	-15.4
静岡	46.6	204.1	19.6	47.9	197.8	14.5	48.9	170.3	4.1	47.5	160.3	-16.0
浜松	47.1	203.2	18.9	48.4	196.8	13.7	49.1	169.1	3.0	47.6	159.1	-17.1
富山	45.2	201.4	17.0	46.3	195.2	12.1	46.8	168.7	3.0	45.3	159.2	-16.6
金沢	45.5	200.7	16.5	46.6	194.3	11.5	46.9	167.8	2.2	45.3	158.3	-17.3
岐阜	46.7	201.4	17.3	47.8	194.9	12.1	48.2	167.7	2.0	46.5	157.9	-17.9
津	47.5	201.3	17.4	48.7	194.7	12.0	48.9	167.0	1.3	47.2	157.1	-18.6
名古屋	46.9	201.8	17.7	48.0	195.3	12.5	48.5	167.9	2.2	46.9	158.1	-17.7
豊橋	47.1	202.7	18.5	48.4	196.2	13.2	49.0	168.5	2.6	47.4	158.6	-17.4
福井	46.2	200.2	16.2	47.3	193.8	11.1	47.4	167.0	1.5	45.7	157.4	-18.1
大津	47.4	200.1	16.4	48.5	193.6	11.1	48.4	166.0	0.6	46.6	156.3	-19.2
京都	47.4	199.9	16.2	48.5	193.3	10.9	48.4	165.8	0.4	46.6	156.1	-19.4
奈良	47.9	200.0	16.3	48.9	193.3	10.9	48.8	165.6	0.2	46.9	155.8	-19.7
大阪	47.9	199.7	16.1	49.0	193.1	10.7	48.8	165.3	-0.1	46.9	155.6	-19.9
堺	48.0	199.7	16.1	49.0	193.0	10.7	48.8	165.2	-0.1	46.9	155.5	-20.0
神戸	48.0	199.2	15.7	49.0	192.5	10.2	48.6	164.8	-0.5	46.7	155.1	-20.3
姫路	48.0	198.3	14.9	48.9	191.6	9.5	48.3	164.0	-1.1	46.4	154.4	-20.8
和歌山	48.5	199.3	15.9	49.5	192.6	10.4	49.1	164.6	-0.7	47.2	154.8	-20.6
鳥取	47.4	197.2	13.9	48.2	190.6	8.6	47.5	163.4	-1.4	45.5	154.0	-20.9
松江	47.5	195.2	12.3	48.2	188.6	7.0	46.9	161.6	-2.8	44.8	152.4	-22.1
岡山	48.3	197.1	14.0	49.2	190.3	8.5	48.3	162.7	-2.2	46.2	153.1	-21.8
広島	49.0	194.7	12.1	49.8	187.8	6.4	48.2	160.1	-4.3	45.9	150.7	-23.8
徳島	48.8	198.4	15.2	49.8	191.6	9.6	49.1	163.5	-1.6	47.1	153.8	-21.5
高松	48.7	197.5	14.3	49.6	190.7	8.8	48.7	162.7	-2.2	46.6	153.1	-21.9
山形	49.6	195.5	12.8	50.3	188.5	7.1	48.9	160.4	-4.2	46.5	150.9	-23.8
高知	49.6	196.9	14.0	50.5	190.0	8.3	49.4	161.6	-3.3	47.1	151.9	-23.1
山口	49.6	192.4	10.2	50.1	185.4	4.4	47.9	157.7	-6.3	45.4	148.5	-25.6
福岡	50.4	191.5	9.5	50.9	184.3	3.6	48.3	156.4	-7.5	45.6	147.2	-26.8
下関	49.8	192.3	10.2	50.4	185.3	4.4	48.1	157.4	-6.6	45.6	148.3	-25.9
北九州	49.9	192.2	10.1	50.5	185.2	4.3	48.2	157.3	-6.7	45.6	148.1	-26.0
大分	50.5	193.7	11.4	51.2	186.6	5.5	49.1	158.2	-6.1	46.6	148.8	-25.7
熊本	51.1	192.3	10.3	51.7	185.0	4.2	49.2	156.5	-7.6	46.5	147.2	-27.1
佐賀	50.7	191.4	9.5	51.3	184.2	3.5	48.6	156.0	-7.9	45.9	146.9	-27.2
長崎	51.4	190.8	9.0	51.9	183.5	2.9	49.0	155.0	-8.8	46.2	145.9	-28.2
宮崎	52.0	193.8	11.7	52.7	186.5	5.5	50.4	157.1	-7.3	47.7	147.6	-27.1
鹿児島	52.6	192.4	10.5	53.1	184.9	4.1	50.4	155.5	-8.7	47.6	146.0	-28.5
那覇	59.1	188.3	7.5	59.4	179.3	-0.6	54.4	146.5	-17.7	50.6	137.1	-37.3

JCSAT2号、スーパーバード4号、スーパーバードB号は次のページをご覧ください。

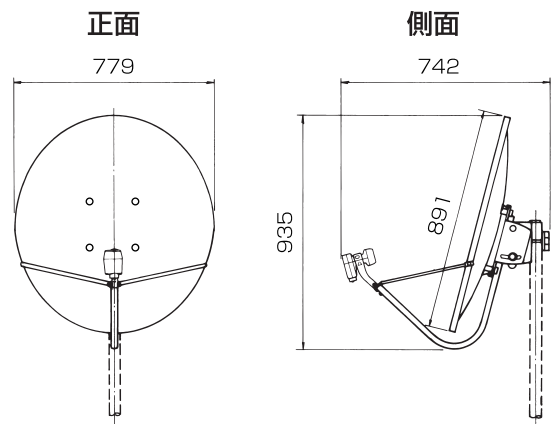
# 主な設置地区の仰角と方位角と偏波角のつづき

都 市	JCSAT-2号 東経154°			スーパーバードA号 東経158°			スーパーバードB号 東経162°		
	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)	仰角(°)	方位角(°)	偏波角(°)
稚内	36.3	163.0	18.1	35.3	157.7	14.5	34.0	152.5	11.1
旭川	38.2	163.4	18.1	37.1	158.0	14.3	35.8	152.7	10.7
釧路	39.5	166.1	19.8	38.5	160.5	15.8	37.3	155.0	12.0
札幌	38.7	161.8	16.8	37.5	156.3	12.9	36.1	151.1	9.3
函館	39.8	160.6	15.6	38.6	155.0	11.7	37.1	149.8	8.0
青森	40.9	160.2	15.2	39.6	154.6	11.1	38.0	149.3	7.3
盛岡	42.2	160.4	15.0	40.9	154.7	10.8	39.3	149.2	6.8
秋田	41.8	158.8	13.9	40.4	153.2	9.7	38.8	147.8	5.8
郡山	44.3	158.2	12.9	42.8	152.4	8.4	41.1	146.9	4.3
仙台	43.6	159.4	14.0	42.2	153.6	9.6	40.5	148.1	5.5
山形	43.4	158.6	13.3	42.0	152.8	9.0	40.3	147.3	4.9
福島	44.0	158.5	13.2	42.5	152.7	8.7	40.8	147.2	4.6
新潟	43.3	156.5	11.7	41.8	150.8	7.4	39.9	145.4	3.4
水戸	45.4	157.9	12.4	43.9	152.0	7.8	42.1	146.4	3.5
宇都宮	45.0	157.1	11.8	43.5	151.2	7.2	41.6	145.7	3.1
千葉	45.9	156.7	11.2	44.3	150.7	6.6	42.4	145.1	2.3
浦和	45.7	156.4	11.0	44.0	150.4	6.4	42.1	144.9	2.2
大宮	45.6	156.4	11.1	44.0	150.5	6.5	42.1	145.0	2.3
土浦	45.7	157.4	11.9	44.1	151.4	7.2	42.2	145.8	3.0
前橋	44.9	155.8	10.7	43.3	150.0	6.3	41.3	144.5	2.2
甲府	45.5	154.7	9.7	43.7	148.8	5.1	41.7	143.4	1.0
東京	45.9	156.4	11.0	44.3	150.4	6.4	42.3	144.9	2.1
横浜	46.1	156.2	10.8	44.5	150.2	6.1	42.5	144.7	1.9
厚木	46.0	155.8	10.5	44.3	149.8	5.8	42.4	144.3	1.6
長野	44.3	154.7	9.9	42.6	148.9	5.5	40.6	143.6	1.5
静岡	46.1	154.0	9.0	44.3	148.2	4.4	42.2	142.7	0.2
浜松	46.1	152.9	8.0	44.2	147.0	3.4	42.1	141.6	-0.7
富山	43.9	153.2	8.8	42.1	147.6	4.5	40.1	142.3	0.6
金沢	43.8	152.3	8.1	42.0	146.7	3.8	39.9	141.5	0.0
岐阜	45.0	151.8	7.4	43.1	146.2	3.0	41.0	140.9	-1.0
津	45.5	151.0	6.5	43.6	145.3	2.1	41.4	140.1	-1.9
名古屋	45.3	152.0	7.4	43.4	146.3	3.0	41.3	141.0	-1.0
豊橋	45.9	152.4	7.6	44.0	146.6	3.1	41.9	141.2	-1.0
福井	44.1	151.4	7.3	42.2	145.8	3.0	40.1	140.6	-0.9
大津	45.0	150.3	6.0	43.0	144.7	1.7	40.8	139.5	-2.2
京都	44.9	150.1	5.9	42.9	144.5	1.6	40.7	139.3	-2.3
奈良	45.3	149.8	5.5	43.2	144.1	1.2	41.0	139.0	-2.7
大阪	45.2	149.5	5.3	43.2	143.9	1.0	40.9	138.8	-2.9
堺	45.2	149.4	5.3	43.2	143.8	0.9	40.9	138.7	-2.9
神戸	45.0	149.1	5.0	42.9	143.5	0.7	40.6	138.4	-3.1
姫路	44.6	148.5	4.6	42.5	143.0	0.4	40.2	137.9	-3.4
和歌山	45.4	148.8	4.6	43.3	143.2	0.3	41.0	138.0	-3.6
鳥取	43.7	148.2	4.6	41.6	142.8	0.5	39.3	137.8	-3.2
松江	43.0	146.7	3.5	40.8	141.4	-0.4	38.5	136.5	-4.0
岡山	44.4	147.3	3.6	42.2	141.9	-0.5	39.8	136.8	-4.2
広島	43.9	145.0	1.7	41.6	139.7	-2.3	39.1	134.9	-5.8
徳島	45.3	147.8	3.8	43.1	142.3	-0.4	40.8	137.2	-4.3
高松	44.8	147.2	3.4	42.6	141.8	-0.7	40.2	136.7	-4.5
高松山	44.6	145.1	1.6	42.3	139.8	-2.5	39.8	134.9	-6.1
高知	45.2	146.0	2.2	43.0	140.6	-2.0	40.5	135.6	-5.7
山口	43.3	143.0	0.1	40.9	137.8	-3.8	38.4	133.1	-7.2
福岡	43.5	141.7	-1.1	41.0	136.6	-4.9	38.4	132.0	-8.3
下関	43.5	142.7	-0.2	41.1	137.6	-4.1	38.5	132.8	-7.5
北九州	43.5	142.6	-0.3	41.1	137.4	-4.2	38.5	132.7	-7.6
大分	44.5	143.1	-0.2	42.1	137.9	-4.2	39.5	133.1	-7.7
熊本	44.3	141.6	-1.5	41.9	136.4	-5.4	39.2	131.7	-8.8
佐賀	43.7	141.3	-1.5	41.2	136.2	-5.3	38.6	131.6	-8.7
長崎	43.9	140.4	-2.5	41.4	135.3	-6.3	38.6	130.7	-9.6
宮崎	45.5	141.8	-1.7	43.0	136.6	-5.7	40.3	131.8	-9.2
鹿児島	45.3	140.4	-2.9	42.7	135.2	-6.9	40.0	130.6	-10.3
那覇	47.7	131.8	-12.0	44.6	127.1	-15.7	41.3	122.9	-18.9

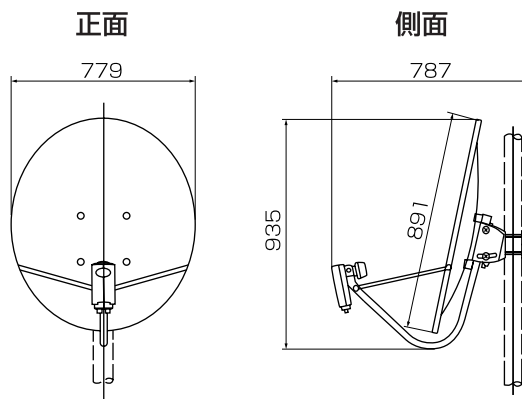
## CSA-756



## CSA-757



## CSA-758



(単位：mm)

寸法はアンテナ仰角が40°マスト径φ76.3mmの場合の最外形寸法です。

## 保証とアフターサービスについて

- この製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証期間中の故障は下記の無料修理規定により、当社にて責任をもって修理いたします。ただし、ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷などの場合は保証期間内でも有料修理となります。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または当社のもよりの各支店・営業所にお問い合わせください。
- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

裏面に記載している保証書に必要事項をご記入ください。

### ●無料修理規定

- 1.保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店を通じて無料修理いたします。
- 2.次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
  - ②お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - ③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、指定以外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷。
  - ④故障の原因が本製品以外の部分（例えばテレビ受像機等）、またはその他の機器によって生じた修理、および改善。
  - ⑤一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
  - ⑥本書が添付されていない場合。
  - ⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、お買上げ販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 3.本書は日本国内にのみ有効です。（This warranty is valid is only Japan.）
- 4.期間中の転居、その他の理由により本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合には、最寄りのDX製品取扱店、またはDXアンテナ各支店、営業所へご相談ください。

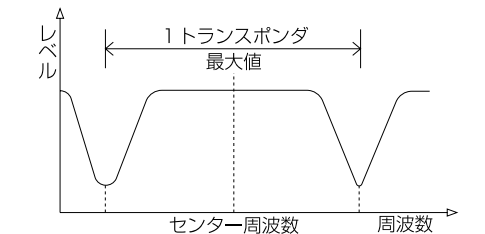
# 規格特性

品名	75形CSアンテナ	75形CSアンテナ	75形CSアンテナ
品番	CSA-756	CSA-757	CSA-758
アンテナ有効径(cm)	75	75	75
受信偏波	直線偏波(垂直および水平)	直線偏波(垂直または水平)	直線偏波(垂直または水平)
受信周波数(GHz)	12.2~12.75	12.2~12.75	12.2~12.75
局部発振周波数(GHz)	—	11.2	11.2
コンバータ出力周波数(MHz)	—	1000~1550	1000~1550
利得(dB)	アンテナ部37.8以上	アンテナ部38.4 コンバータ部54 注1)	アンテナ部38.4 コンバータ部54 注1)
コンバータ雑音指数(dB)	—	0.8 注1)	0.8 注1)
G/T(dB/K)	—	18.0 注1)	18.0 注1)
コンバータ局発位相雑音(dBc/Hz)	—	-65 (1kHzオフセット) -85 (5kHzオフセット) -95 (10kHzオフセット) 注1)	-65 (1kHzオフセット) -85 (5kHzオフセット) -95 (10kHzオフセット) 注1)
コンバータ電源(ケーブル重畳)(V)	—	垂直偏波 DC 9.5V~12V 2.3W以下 注2) 水平偏波 DC13.5V~16.5V (DC15V入力時)	垂直偏波 DC 9.5V~12V 3W以下 注2) 水平偏波 DC13.5V~16.5V (DC15V入力時)
コンバータ出力インピーダンス(Ω)	—	75 (F形C15)	75 (F形C15) (2出力)
耐風速(m/s)	受信可能風速 20 復元可能風速 40 破壊風速 60 注3)	受信可能風速 20 復元可能風速 40 破壊風速 60 注3)	受信可能風速 20 復元可能風速 40 破壊風速 60 注3)
適合マスト径(mm)	φ48.6~90.0	φ48.6~90.0	φ48.6~90.0
仰角調整範囲(°)	23~67 (中間取付23~51)	23~67 (中間取付23~51)	23~67 (中間取付23~51)
偏波角調整範囲(°)	—	±25	±25
質量(kg)	6.3	6.8	6.8
構成部品	75形反射鏡(マウント付)……1台 コンバータアーム……1本 サイドアーム……2本	75形反射鏡(マウント付)……1台 CSコンバータ(CSP-11C) } …1組 コンバータアーム } サイドアーム……2本	75形反射鏡(マウント付)……1台 CSコンバータ(CSP-21C) } …1組 コンバータアーム } サイドアーム……2本
付属品	固定バンド……1本	F-5接栓……1個 防水キャップ……1個 固定バンド……1本	F-5接栓……2個 防水キャップ……2個 固定バンド……1本

注1) 利得、コンバータ雑音指数、G/T、コンバータ局発位相雑音は標準値です。  
 注2) コンバータ電源の規格は、コンバータ出力端子に必要な電源電圧です。  
 注3) 受信可能風速：アンテナに風圧を加えている間、電気的性能の劣化が許容範囲内であるときの最大風速。  
 復元可能風速：アンテナに風圧を加えた後、アンテナの方向を再調整することによって、電気的性能を満足する最大風速。  
 破壊風速：アンテナに風圧を加えている間、アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速。  
 規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

## デジタル衛星放送出力レベル確認方法 (スペクトラムアナライザ使用)

- ①スペクトラムアナライザのセンター周波数を測定する信号 (1トランスポンダ) の中央に合わせます。
- ②スペクトラムアナライザを次のように設定します。  
 周波数スパン (SPAN) 50MHz  
 分解能帯域幅 (RBW) 1MHz  
 ビデオ帯域幅 (VBW) 300Hz
- ③信号の最大レベルをスペクトラムアナライザで測定します。
- ④測定したレベルに補正值(CSデジタル信号 15dB、BS・110度CSデジタル信号 16.3dB) を加えた値が、その信号のレベルとなります。  
 また、分解能帯域幅 (RBW) を100kHz、10kHzで測定したときの補正值は右表をご参照ください。



補正值	CSデジタル (dB)	分解能帯域幅 (RBW)		
		1MHz	100kHz	10kHz
	BS・110度CSデジタル (dB)	16.3	26.3	36.3

RBWを変えたときの値が大きく異なる場合は、誤差が大きいと考えられます。

- 注1) 低いレベルのデジタル信号をスペクトラムアナライザで測定する場合には、ノイズの影響などで測定誤差が大きくなります。  
 注2) スペクトラムアナライザの機種によってわずかに補正值が異なる場合があります。

## 保証書

品番 <b>CSA-756</b> <b>CSA-757</b> <b>CSA-758</b>	※お買上年月日 年 月 日	保証期間 お買上げ日より <b>1年間</b>	お名前 ふりがな	様
※ご購入店 ご住所・ご店名	ご住所		お客様 ご住所 〒□□□□□□ 電話 ( ) -	

※印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。

CSA-756に取り付ける給電部 (別売) には、別途給電部の保証書が必要となります。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

- ・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)
- ・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)
- ・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)
- ・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)
- ・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)
- ・東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)
- ・多摩営業所 TEL.(042)770-2931(代)
- ・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)
- ・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)
- ・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)
- ・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)
- ・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)
- ・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)
- ・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)
- ・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)
- ・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)
- ・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)
- ・岡崎営業所 TEL.(0564)27-1516(代)
- ・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)
- ・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)
- ・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)
- ・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)
- ・近畿システム営業所 TEL.(06)6304-5658(代)
- ・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)
- ・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)
- ・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)
- ・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
- ・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
- ・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
- ・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
- ・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
- ・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
- ・大分営業所 TEL.(097)558-7235(代)
- ・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
- ・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
- ・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

(2003年3月現在)

## DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)